

最近の雇用情勢について

(令和2年10月)

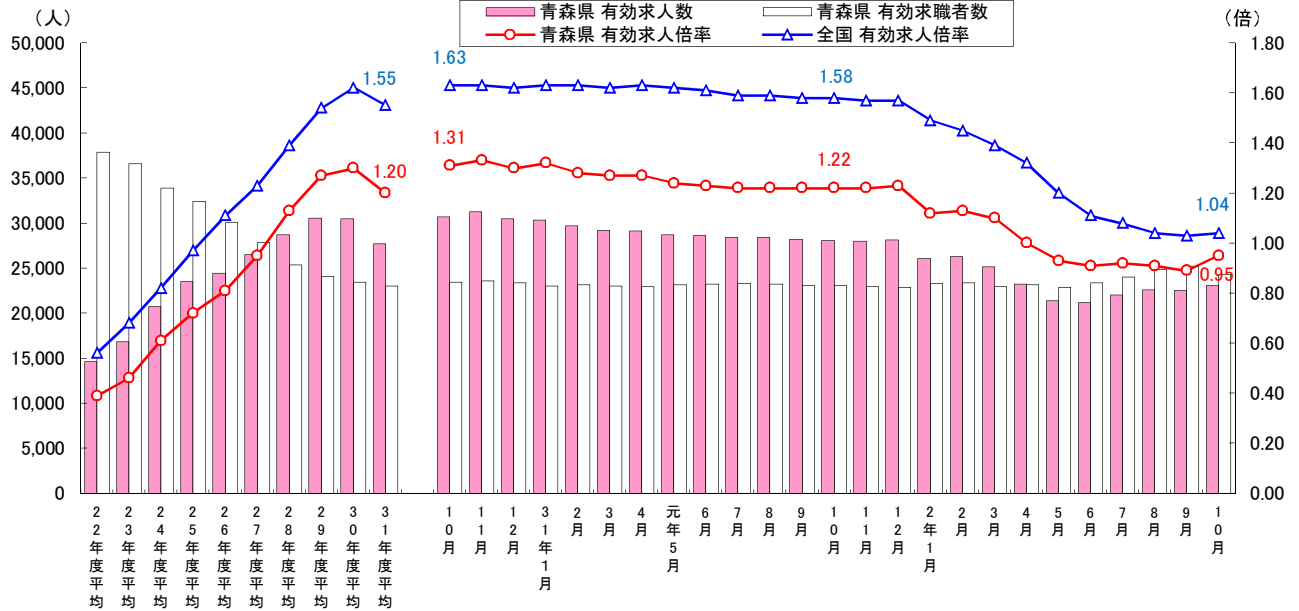
青森労働局

職業安定部

I 受理地別求人倍率の推移(季節調整値)・・・年度平均は原数値

10月の一般職業紹介状況をみると、有効求人数（季節調整値）は前月に比べ2.4%増加し23,058人、有効求職者数（同）は3.7%減少し24,253人で、有効求人倍率（同）は0.95倍となり、前月を0.06ポイント上回った。
 就業地別の有効求人倍率（季節調整値）は1.04倍で前月に比べ0.07ポイント上回り、受理地別の倍率を0.09ポイント上回った。

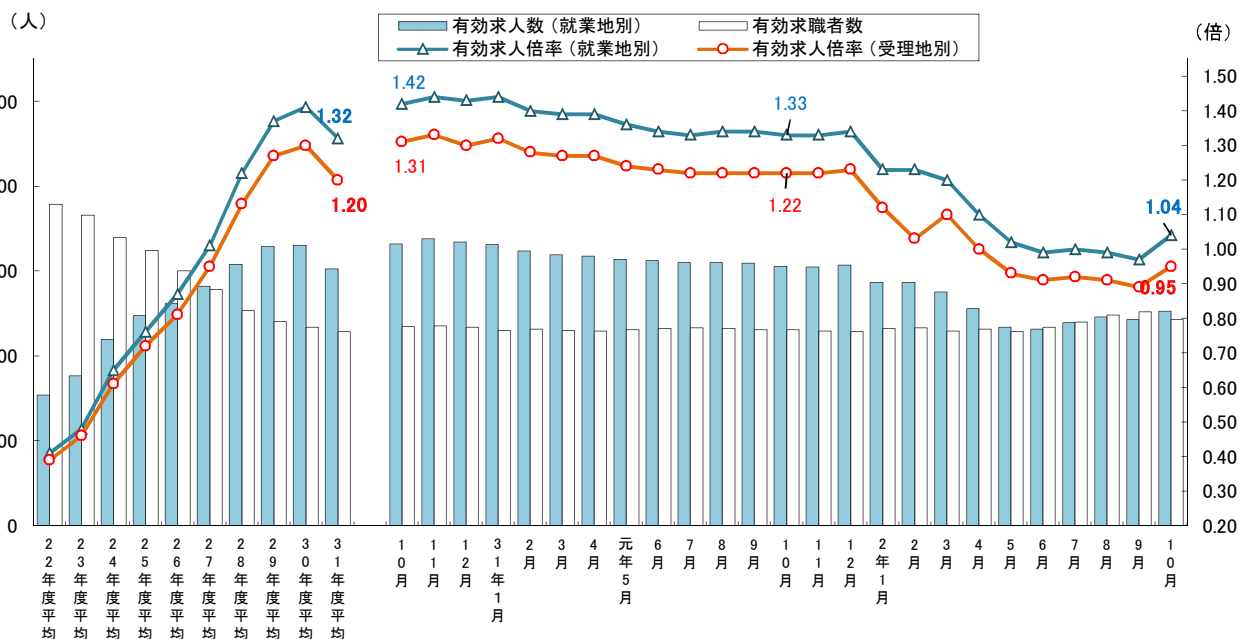
受理地別有効求人倍率の推移（全数・季節調整値）



※ 県内のハローワークで受理した求人数から求人倍率を算定。

【参考指標】

就業地別有効求人倍率の推移（全数・季節調整値）



全国のハローワークで受理した求人で、就業地が青森県内となっている求人数から求人倍率を算定。
 季節求人については、受理したハローワーク管内を就業地としてみなしている。
 就業地として複数の市町村が挙げられている場合は、求人数を該当の市町村に割り当てることにより集計。

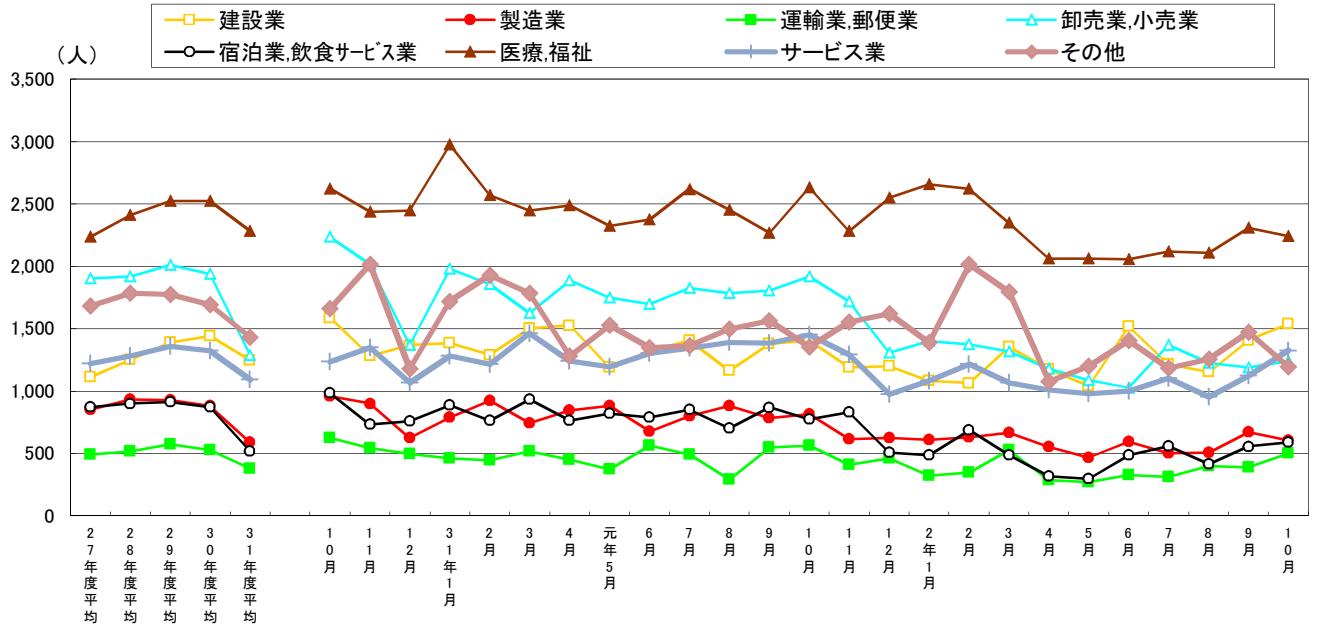
(注) 季節調整法はセンサス局法Ⅱ(X-12-ARIMA)による。なお、令和元年12月以前の数値は、令和2年1月分公表時に新季節指数により改訂されている。

II 新規求人の状況(学卒を除きパートタイムを含む)

10月の新規求人数(原数値)は前年同月比15.3%(1,668人)減少の9,238人。

主要な産業の新規求人数(原数値)をみると、建設業で増加し、製造業、卸売、小売業、医療、福祉、サービス業等で減少した。

製造業では、窯業・土石製品製造業で増加し、食料品製造業、飲料・たばこ・飼料製造業、繊維工業、木材・木製品製造業(家具を除く)、家具・装備品製造業、パルプ・紙・紙加工品製造業、印刷・同関連業、化学工業、石油製品・石炭製品製造業、プラスチック、ゴム製品製造業、鉄鋼業、非鉄金属製造業、金属製品製造業、はん用・生産用機械器具製造業、業務用機械器具製造業、電子部品・デバイス・電子回路製造業、電気機械器具製造業、情報通信機械器具製造業、輸送用機械器具製造業、その他の製造業で減少した。



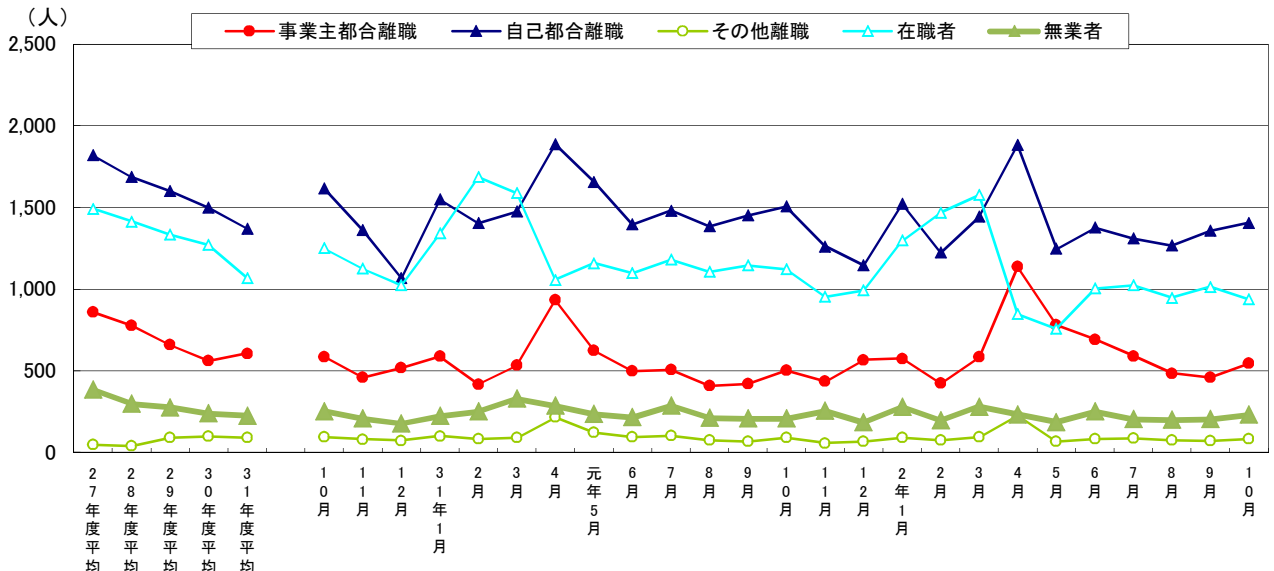
平成26年4月内容分より、平成25年10月改定の「新産業分類」での集計となっています。
 『その他』には、「農,林,漁業」「鉱業」「電気・ガス・熱供給・水道業」「情報通信業」「金融業,保険業」「不動産,物品賃貸業」「学術研究,専門・技術サービス業」「生活関連サービス業,娯楽業」「教育,学習支援業」「複合サービス事業」「公務・その他」を含みます。

III 新規求職の状況(パートを除く常用)

10月の新規求職者数(原数値)は、前年同月比6.5%(221人)減少の3,198人。

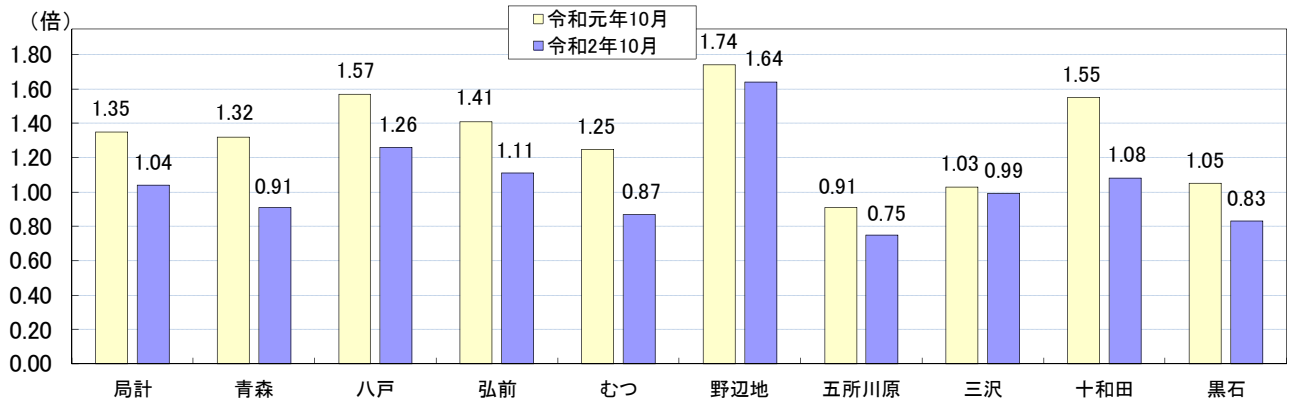
在職区分別に前年同月と比較すると、在職者は▲16.3%(▲183人)、離職者は▲3.0%(▲63人)減少し、無業者は12.1%(25人)増加した。

離職理由別では、事業主都合離職は前年同月比8.6%(43人)増加、自己都合離職は同6.6%(99人)の減少となった。



IV 安定所別求人倍率の状況(学卒を除きパートタイムを含む全数・・・原数値)

10月の局計の有効求人倍率(原数値)は1.04倍となり、前年同月より0.31ポイント低下した。各安定所別の有効求人倍率は次のとおり。



R2.10	局計	青森	八戸	弘前	むつ	野辺地	五所川原	三沢	十和田	黒石
有効求職者数	22,951	5,906	5,436	3,889	1,232	760	2,059	1,336	1,115	1,218
有効求人数	23,962	5,362	6,873	4,335	1,068	1,245	1,539	1,325	1,200	1,015

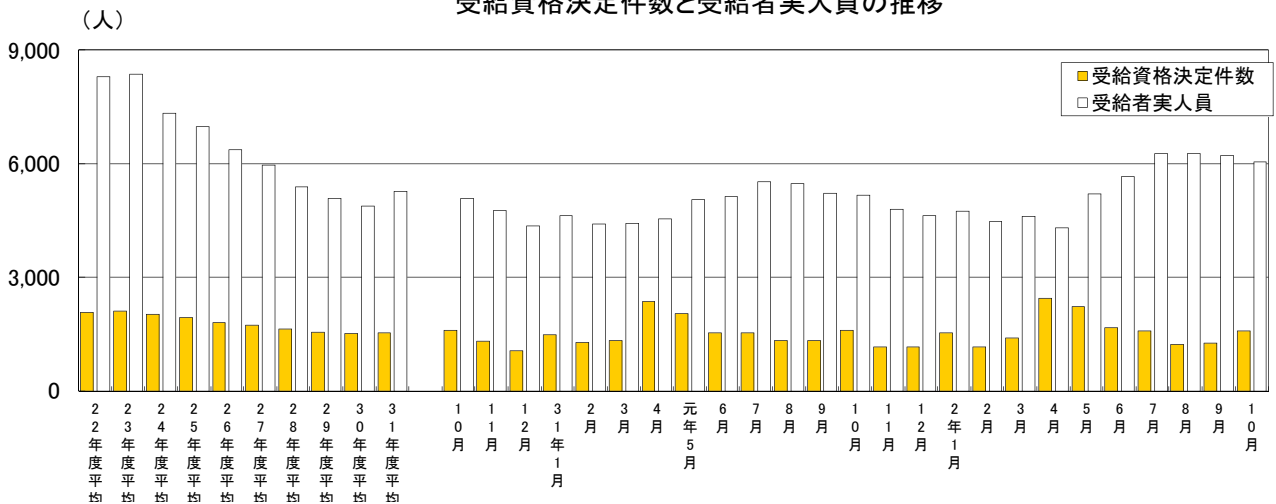
(単位:人)

V 雇用保険の状況

10月の受給者実人員(基本手当基本分)は、前年同月比16.8%(869人)増加、前月比では2.7%(168人)減少の6,041人となった。また、受給資格決定件数は、前年同月比1.5%(24件)減少、前月よりも25.3%(319件)増加し1,580件となった。※受給資格決定件数は、速報値であり修正する可能性もあり得ること。

資格喪失者(高齢者、短期特例被保険者を除く)のうち事業主都合による者は、前年同月比4.3%(10人)増加、前月比28.7%(98人)減少し243人となった。

受給資格決定件数と受給者実人員の推移



(人)

事業主都合による資格喪失件数の産業別推移

